

教育委員会だより

夢育那須通信

～You make Nasu～

第4回

町教育委員会では、「夢・感動あふれる人づくり」という教育方針の下、学校・家庭・地域と、一丸となって「夢ある子どもを育む那須の教育」を推進しています。その取り組みや活動の様子を7回シリーズでお伝えします。



事業紹介

民俗資料館

役場本庁の北側に建つ「那須町民俗資料館」は、明治43年に皇居内に建築された資料館でした。昭和48年11月に町は払い下げを受け移築・復元し、町制施行20周年を記念して翌年11月1日に開館しました。

生活の変化に伴い、いつしか消滅する可能性のある貴重な資料を収集し、後世に広く伝え、郷土の暮らしの移り変わりを理解してほしいと願いを込めて公開しています。

館内には、衣食住、農業、商業および漁業などの生活用品・民具を中心に、唐箕（とうみ）や人力車などを展示しています。

見学を希望する方は、事前に生涯学習課へお問い合わせください。また、社会科学見学などでお越しになる際には、館内の解説も行っていますのでお気軽にご相談ください。

▼休館日 土日祝日、年末・年始
(12月29日～1月3日)

▼入館料 無料

▼問合せ 生涯学習課文化振興係
☎ 6565



郷土の川に関心をもち、川を愛し、きれいにしようとする心を育てることを目的として、町内小学生を対象に稚魚の育成と放流体験を実施しています。今年度は、東陽小学校と高久小学校が事業に参加し、那珂川北部漁業協同組合のご協力のもと事業を行っています。体験活動は夏と冬の2回に分かれており、夏はウグイの育成と放流、冬はサケの育成と放流を行います。5月下旬には、ウグイの飼育方法や生態について勉強しました。教室内の水槽に搬入されたウグイの稚魚を見た児童からは「かわいい!」と歓声が上がりました。そこから1カ月半の間、子どもたちの

川をきれいにする基金事業



▲唐箕



▲民俗資料館



▲人力車



▲校外学習の様子



ウグイを放流しました



ウグイの生態について学習しました

手で稚魚の育成を行い、7月中旬、高久小学校は余笹川に、東陽小学校は三蔵川に放流しました。自分たちの手で育てたウグイが、自分たちの住む地域の自然の中に帰っていく姿を見て、河川をはじめとする自然や、自分の故郷への関心が高まったようでした。冬のサケは、卵を孵化させるところから体験してもらおうと企画しています。12月初旬開始予定です。